

問い合わせ先
海上保安庁 第四管区海上保安本部
交通部 安全課長 安達 裕司(内線 2620)
Tel 052-661-1611 (代表)

平成25年8月27日



東海地方における霧海難防止強調運動及び 海の事故ゼロキャンペーンの実施結果について

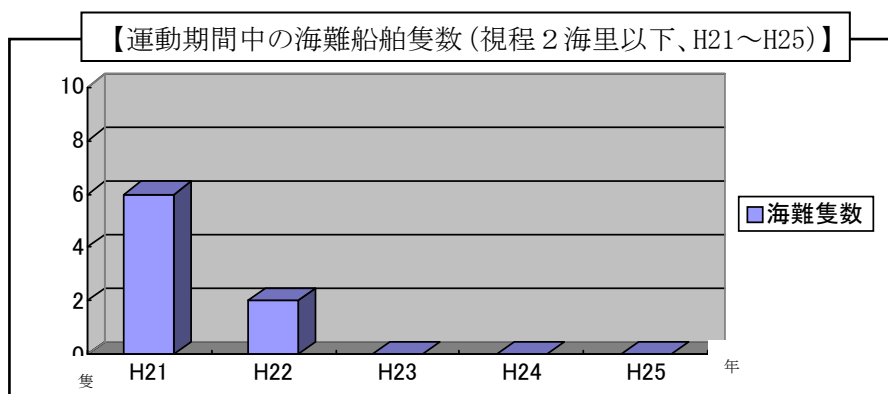
5月21日(火)から7月31日(水)までの間、「**スローダウン すべての見張りを研ぎ済ませ!**」をスローガンに、霧等の視界不良時における海難の防止を目的とした**霧海難防止強調運動**を実施し、期間中の視界不良時における海難は発生しませんでした。

また、7月16日(火)から7月31日(水)までの間、「**海難ゼロへの願い**」をスローガンに、「**見張りの徹底及び船舶間コミュニケーションの促進**」及び「**小型船の安全運航の徹底**」を重点事項に定め、**海の事故ゼロキャンペーン**(全国海難防止強調運動)を実施し、期間中の海難は8隻で、昨年より2隻減少しました。

1 霧海難防止強調運動の実施結果について

(1) 運動期間中の海難発生状況

運動期間中、視界不良(視程2海里以下)は6回(延べ23時間)発生しましたが、この間における海難は発生しませんでした。



(2) 運動期間中における海難防止活動

訪船指導224隻、企業等訪問95箇所、海難防止講習会開催等35回(参加人数1529人)等を実施しました。(別紙1「霧海難防止強調運動の活動状況」のとおり)

(3) 運動実施結果について

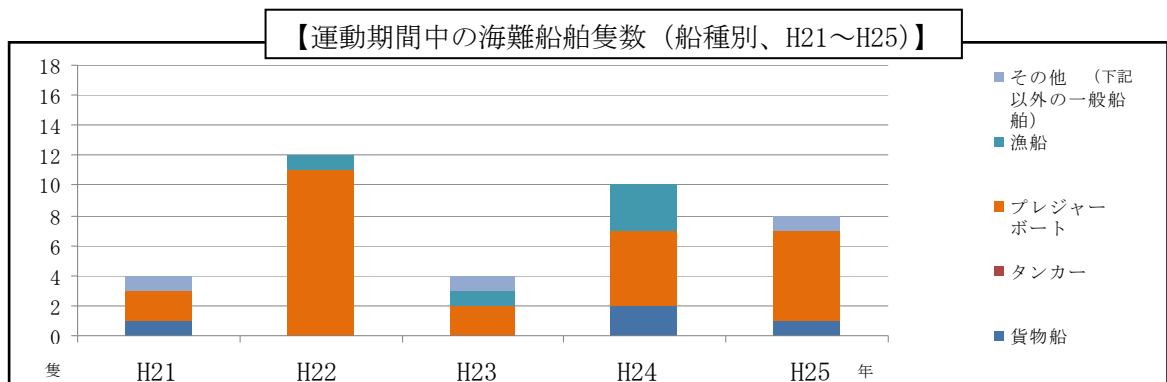
本運動は今年で8年目となり、訪船指導、企業等への訪問等により船舶や企業に広く認識され、視界不良時に見張りを増員する等、安全運航に対する意識の向上が窺えました。

今後におきましても対象期間に捉われることなく、視界不良時の海難防止について指導を行います。

2 海の事故ゼロキャンペーンの実施結果について

(1) 運動期間中の海難発生状況

- ・運動期間中における海難隻数は8隻で、プレジャーボート6隻、作業船1隻、貨物船1隻でした。うち7隻は土曜日、日曜日に発生しました。
- ・プレジャーボート海難の種類は、推進器障害2隻、乗揚げ2隻、機関故障1隻、原因不明による航行不能1隻でした。
- ・昨年度より2隻減少、過去5年間の平均隻数(9.2隻)とほぼ同数でした。



(2) 運動期間中における海難防止活動

運動期間中は、安全思想の普及にかかる各種行事22回(5700人参加)、訪船指導191隻、海難防止講習会開催等26回(1764人受講)等を実施、海難防止にかかる啓発活動を集中的に行いました。(別紙2「海の事故ゼロキャンペーンの活動状況」のとおり)

3) 今後の海難防止に向けての取組み

マリンレジャーが活発な8月31日まで、プレジャーボート等の小型船に対する安全指導を重点的に実施し、また他の船舶に対しても引き続き海難防止活動を推進し海難の減少に取り組めます。

